

中期経営計画(2020-2022年)の進捗について 「Stage up for the Future」

2020年からスタートした中期経営計画は前中計に続くStageと位置づけ、新製品開発や設備増強、研究開発機能・体制の強化のための成長投資を積極的に行っています。その結果、営業利益やEBITDAなどいくつかの項目において、2022年の目標値を1年前倒しで達成することができました。

基本方針

① 高付加価値製品事業の拡大

高付加価値製品の拡大に向けて成長牽引事業の販売強化と新製品開発に着実に取り組む。

② 将来を支える「第4の柱」事業を含む新ビジネスユニットの創出

当社グループのコア技術を起点として、従来の事業領域を超えた新規キーマテリアルやサービスを新たなビジネスユニットとして複数創出する。

③ 基盤事業の強靱化

収益基盤を強化するため、基盤事業の計画的投資と継続的合理化を進め、成長が見込めない事業を整理、縮小する。

重要施策

① 高付加価値事業の拡大と新事業の創出

新製品開発事業部を起点とした新事業・新製品開発の強化と加速。

② 海外展開の加速

当社グループの特色ある製品の海外(中国・タイなど)への拡販。

③ DXを活用した企業基盤の強化

DXを通じた工場・研究開発業務などの革新、生産性向上。

④ 必要人材の確保と育成、および労働環境の整備

事業戦略に必要な人材の確保と育成、多様な人材が活躍できる人事処遇・勤務制度の実現。

⑤ サステナブル経営の推進

地球環境保全に資する新ビジネス・新製品開発の推進およびステークホルダーとの対話強化。

数値目標と実績

中期経営計画では、以下を数値目標として掲げています。
これまでの実績と2022年の予想値は以下の通りです。

	2020年	2021年 ^{※5}	2022年(予想)	2022年(中計目標)
売上高(億円)	1,333	1,563	1,538(1,663) ^{※6}	1,630
営業利益(億円)	123	176	180	170
営業利益率(%)	9.2	11.3	11.7	10.4
EBITDA ^{※1} (億円)	221	282	288	270
高付加価値製品比率 ^{※2} (%)	43.3	43.8	52.7	47.0
設備投資額(認可ベース)(億円)	118	249	336	440(中計期間累計)
海外売上高(億円)	221	290	308	325
海外売上高比率(%)	16.6	18.6	20.0	20.0
EPS ^{※3} (円)	62.43	108.14	109.22	106
ROA ^{※4} (%)	5.3	7.6	7.3	7.0

※1 EBITDA = Earnings Before Interest Taxes Depreciation and Amortization。税引前利益に支払利息、減価償却費を加えて算出される利益

※2 売上高に占めるポリマー・オリゴマー事業、接着材料事業、高機能材料事業、樹脂加工製品事業(管工機材製品除く)の割合

※3 1株当たり当期純利益

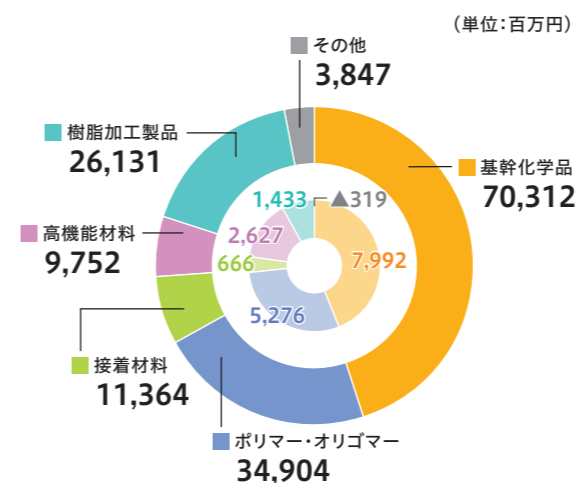
※4 総資産経常利益率

※5 2021年の黄色の項目は、中計目標を達成

※6 2022年から収益認識会計基準等を適用している(計上方法の変更含む)が、カッコ内の数値は適用しなかった場合の数値

東亜合成グループの収益構造(2021年)

売上高(外円) 156,313百万円
営業利益(内円) 17,676百万円



高付加価値製品・汎用製品の営業利益

